

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

令和4年1月14日

(宛先)狭山市長

団体名 社会福祉法人茶の花福祉会  
大樹の家  
所在地  
代表者名 施設長 堀口 和美

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業・行政提案型協働事業
2 事業名	障がいのある方が教える「ボッチャ教室」
3 事業期間	令和4年4月1日から令和5年2月28日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	115,000円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方々とパラリンピック正式種目であるボッチャ競技を通じた地域交流・スポーツ参加の場を提供する</li><li>・事業開催にあたり、障がいを持つ方が企画から参加することで、地域の中での役割を担っていく</li><li>・障がい者理解の推進</li></ul>
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 社会福祉法人 茶の花福祉会 大樹の家

1 事業名	障がいのある方が教える「ボッチャ教室」
2 事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幅広い年齢層の方にパラリンピック正式種目であるボッチャ競技を知ってもらうと共に地域交流スポーツ参加の場として、全2回のボッチャ教室を開催する(8月、10月)</li> <li>・障がいのある当事者が企画から関わり、当日スタッフとしても役割を持って参加する</li> <li>・『車椅子体験』等を盛り込んだプログラムで実施する</li> <li>・施設の地域交流の実績を活かし、ボランティアや広報活動を活かし多くの方に参加していただく</li> </ul>
3 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大樹の家は、年間を通し季節行事の開催、施設内活動を行うにあたり、入居者の自治組織である生活会の役割が確立しており、新規事業を開催する際もそれらの機能が十分に生かせる体制が整っている</li> <li>・地域のボランティア、近隣小・中・高等学校、大学との交流の機会を数多く持っているため、広報活動に生かすことができる</li> <li>・令和3年度に「障がいのある方が教えるボッチャ教室」を実施した際の経験と反省、行政・指導員、スポーツ推進員等の繋がりを生かすことができる</li> </ul>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の広報活動、事業の開催及び開催に当たって人員配置</li> <li>・事業の広報、開催に当たっての物品の競技に利用する道具の準備</li> </ul>
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場準備、講師、スポーツ指導員の紹介・手配</li> <li>・公的立場から募集等の広報</li> <li>・市内関係機関との連絡調整</li> </ul>
5 協働の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山市の福祉活動、スポーツ活動、ボランティア活動等の推進の一環として関わっていただくことで公平な展開と参加者の安心感を得ることができる</li> <li>・障害者支援施設が実施することで、地域の方々の障がい者理解に繋げるとともに、施設のサービスや取り組みの周知に繋げることができる</li> </ul>